

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	アクティブライフの理念にある「地域と共に」を元にして、夏祭り・盆踊り・近隣保育園との交流・年末行事等で地域活動に参加したり協力している	○	利用者がさらに地域に参加できる機会と環境整備を運営推進会議等で模索したい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	フロアにグループホームの運営理念を掲示し、毎週月曜日の朝礼で理念の唱和を実施、また月1回のミーティングで意見交換を実施している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	月1回の状況報告レター及び年2回の家族会またおおむね2ヶ月に1回の運営推進会議を実施して伝えている		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	宅急便の取り扱い及び市バスカードの販売等を通じて近隣との日常的付き合いに努めている	○	入居者と共に地域の清掃活動等に参加していきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校での盆踊り参加及び施設でのもちつき大会への地域からの協力、また近隣の保育園の園児との相互交流を実施している	○	地域のスポーツセンターの体操教室への参加

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	年末のもちつき大会について老人会に協力依頼し、また居宅介護支援事業所（えがおの窓口）・ホームヘルプサービスでの相談サービスの提供をしている	○	地域支援に関して運営推進会議等を通じて提供していきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ミーティングや個別の面談で評価の報告と改善について話し合いを実施している	○	第三者評価の実施、スケジュール等を家族に告知し、運営推進会議においても議題として説明している、また評価を元に意見・提案を取り入れていきたい
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での家族の要望や地域の代表者の提案また地域包括支援センターの職員からの意見をフロアミーティング等を利用して報告、意見交換している		
9 ○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	こうべ市民福祉振興協会が神戸市から委託を受けて実施している認知症介護実践研修等の施設実習受入れ、また神戸市認知症介護ネットワーク会議（相談援助グループ）に出席している		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている利用者もおられ管理者は個別な家族の要望に応じて相談及び専門機関等の紹介をしている	○	社会福祉士、主任ケアマネージャーの職員により権利擁護制度の研修を行っていきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	各フロアミーティング、全体会議を通じて身体拘束及び虐待に関する説明を実施している	○	今後は定期的な勉強会を実施したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に契約書及び重要事項説明書等で説明している、また状態に変化等ある場合は個別に説明し相談を受け要望があれば医療機関の紹介や施設の紹介を実施している	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者はいつでも意見、不満、苦情がある時には管理者・スタッフが時間を設けて適切に応接室等に対応、またミーティングで日ごろの利用者の意見を話し合い家族へ電話する機会等を設けて対応している	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の個別状況報告レターの送付及び電話による健康状態や受診結果の報告、職員の異動等は所長の異動は報告、他の職員は尋ねられた場合に説明している	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本社が実施する年1回のアンケート調査、年2回の家族会及び運営推進会議、3ヶ月に1回のケアプラン見直し時には書面で伺い、結果を送付またプランに反映させている、また外部の苦情等窓口も重要事項等で説明している	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティング・年2回面談シートを元に全スタッフの面談を実施、また全社的に年1回改善提案等の募集を実施し評価している	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	基本的に各ユニット8名の常勤職員を配置している、また利用者の状態が変化した等への対応は都度話し合いをし可能な範囲で柔軟に勤務調整をおこなっている、また必要に応じては時間外勤務等で対応している	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>事業者都合による管理者の異動は必要最小限に抑える努力をし、代わる場合も同じ事業所から異動している、年2回の面談等を通じて離職を必要最小限に抑える努力をしている</p>	○	<p>離職率の高い職種のため職員が仕事を継続しやすい環境を作っていきたい</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> <p>所長による新入社員研修や職場での1ヶ月のOJTの実施、中堅職員の認知症介護実践研修等の受講及び介護福祉士資格取得支援、社内研修（海外含む）等の紹介</p>	○	<p>本社研修センターの積極的活用</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> <p>業務別合同会議等で社内間他施設と3ヶ月に1回程度交流、意見交換している、またこうべ市民福祉振興協会が神戸市から委託を受けて実施している研修の受入れ施設として他施設の職員と交流、意見交換をしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> <p>年1回の事業所懇親会及び全社懇親会等福利厚生者の活用及び次月勤務表作成時に公休希望日の確認や月9回の公休日の確保をしている</p>	○	<p>スーパービジョンの実施</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>個別習得度フォローシステムの活用で各人の力量把握に努め、年1回の事業所事例発表会及び全社事例発表会での発表機会の提供また改善提案（評価付き）の募集や資格取得支援（費用等）を実施しているまた面談シートで年2回の面談をふまえ考課をしている</p>	○	<p>人事処遇制度のアンケート</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に家庭訪問を実施し慣れ親しんだ環境で本人から話を伺い記録している	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の見学及び家庭訪問等で話を伺う機会を設けて相談を伺うようにしている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の見学や訪問時に本人、家族の相談内容により社会福祉士及びケアマネージャー・介護主任等が適切に対応している	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家庭訪問で本人と話す時間を十分に設けるようにしている、見学の実施、入居後しばらくはそれぞれの入居者の状況によりご家族と一緒に過ごす時間を増やしたり、ご家族に宿泊していただいている	○ 入居前の体験入居を実施してみたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	朝の会やアクティビティーを通じて、それぞれの利用者の得意なこと等を見つけ、生け花の実践や着物のたたみ方家事の仕方について教えていただく	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>○利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	○	<p>家族と入居者のみで外出が困難になっているため、個別で家族と共に参加できる外出計画を作成・実施したい</p>
29	<p>○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ミーティング・ケアプラン・状況記録等を通じてスタッフと情報を共有し理解に努めている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の家庭訪問や見学等で本人や家族から話を伺い、入居後日常生活の中での本人の話等を記録し情報を共有化している	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の状況を記録に残し、申し送りで伝達、月1回のミーティング等で利用者の現状について話し合う	
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意向を基本に介護計画を作成し、それを元にスタッフ全員で検討する	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回介護計画の見直し、月1回のミーティングで介護計画の確認を行っている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	コンピューターシステムを活用し複数箇所の端末機から随時状況を個別に入力し情報を共有化している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院の付添、送迎、入退院時、入院中のサービスとして送迎のお手伝いや手続き代行及び洗濯物の集配など生活支援をおこなっている、また通常時においても日常生活において必要な代行サービスをおこなっている		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年2回の防火訓練の実施、クラブ活動におけるボランティアの参加、地域行事で民生委員等地域の機関と協力している	○	地域のスポーツセンターの利用
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	要望があれば居宅介護支援事業所のケアマネジャー等が対応できる体制がある	○	他のサービスについての情報の収集をしたい
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの主任ケアマネージャーに参加していただいている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医への定期受診と受診できない方には往診を実施し、必要に応じて協力医から専門医を紹介していただいている、また協力医は24時間電話対応の体制をしいている</p>	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医・家族と相談し個別に必要なと思われる利用者に対して協力医の紹介により心療内科を受診をし、相談している</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>併設のデイサービス看護師に必要なに応じて相談している</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時にお見舞い・洗濯物・必要物品の購入代行等の支援をすると共に病院関係者と情報交換や相談に努めている</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族や医師との話し合いを繰り返しホームで出来る範囲内での支援を実施、また個別にミーティングの機会を設けスタッフ全員に方針を共有化させている</p>	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>医療面は主治医指示の元にグループホームへの復帰を前提に、併設のデイサービス看護師にも相談し対応、ミーティングで検討を重ね介護計画を作成している</p>	<p>○ 訪問看護ステーション等の活用も考えていきたい</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>リロケーションダメージの重大性を認識して移り住む施設の事前調査や見学、またスタッフへの情報提供を細かに行う</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>新人研修の中にマナーの基本や介護の原則項目があり、個人情報の取り扱いについては個人情報保護規定に沿った研修を実施し徹底を図っている</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個々の利用者理解に努め利用者の能力に合わせた支援を実施している</p>	<p>○</p> <p>利用者の選択肢を増やしていき、選ぶことのできる環境を作りたい</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>必要な時には個別に対応しているが利用者全員に合わせた実施は難しい状況である</p>	<p>○</p> <p>スタッフの研修機会を増やしより個別対応力のあるスタッフを確保していく</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>今までの生活でしておられた身だしなみやお洒落をできる限り継続していただく、また月に2回外部業者に来てもらって美容室を開いているが希望があれば近隣の美容院も利用している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事ミーティングを通じて利用者の要望に応えていくよう努めている、またできる方にはスタッフと食事の配膳・下膳をしていただいたり不定期にフロアで共に食事づくりを実施している		
55	○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個別におやつを預かったり買い物に出かけたりしている、またイベントで飲酒できる機会を設けている		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	介助が必要な方には排泄リストを作り適時に誘導し排泄していただく、またおむつの使用についても個人に適した物を検討している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	昼入浴・夜入浴と時間帯を分けて対応、脱衣から入浴、着衣までは一人のスタッフが対応している、またイベントとして全国名湯温泉浴を実施している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中を活動的に過ごしていただくことを心がけ、体操や各種アクティビティーも実施している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活の中で掃除や洗濯等家事一般をしていただく、また外出先などその方の趣味に会う場所を検討している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理ができる方に対しては所持していただき近隣での買い物等していただく、またお金を持つことで安心できる方には一定額を持っていただく</p>	
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望があれば体調等を考慮しながらの外出は実施しているが天候や人員体制によりかなわない時もある</p>	
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>毎月利用者の希望を伺い外出計画をたて実施している</p>	
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があれば電話をしていただく、公衆電話も設置している、また年賀状・暑中見舞いを書いていただくよう支援している</p>	
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>面会時間に制限は設けておらず面会場所も居室及び共有スペースを自由に使用していただいている、また宿泊も可能である</p>	
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>行政からの資料等を使いミーティングを通じて身体拘束について理解を深める取り組みをしている</p>	<p>○ 勉強会でとりあげ常に意識して支援できるようにしたい</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の要望があれば居室の鍵をかけているが館内の玄関は日中かけることはない、またエレベーターは危険防止のため利用に際して必要な操作が要るが操作が理解できる方には自由に使用していただいている		
67	○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在の確認をしスタッフ間でも声かけし合う、また夜間帯は夜勤者が定期的に居室巡回している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	服薬・刃物・はさみ等、自己管理ができる方には居室で持っていていただいている、また管理できない方に対してはホームで保管している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティング等で日々の生活でのヒヤリハットした事例に関して検討している、また転倒・誤薬がないように環境整備を心がけている		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応に関して行動手順を示したものを掲示している、また協力医とは24時間連絡が取れる体制をとっている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を年2回実施している	○	地域の共同防災訓練等が実施される時に参加したい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ADLの低下に伴い転倒等のリスクを説明している、また体調の変化に関しても様子を連絡し、早めの受診等で対応している	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変動がある場合はバイタルチェックをおこない協力医に連絡、スタッフ間に声かけし情報を共有し記録に残す	
74	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服されている薬は全員がチェックし用法及び用量や内服薬の変更時は申し送りや記録で確認するようにしている	○ 内服薬の効能や副作用についての理解を深めたい
75	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日中の運動量や水分摂取量に留意し、また排泄リストにより必要時には下剤の投与を実施する	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に口腔ケア及び毎夜の義歯の洗浄を実施している	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全員の食事量を記録に残し必要な方には水分摂取量をチェックする、また栄養バランスに関しては食事ミーティング等で栄養士と話し合う	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）	ミーティングや勉強会で理解を深め感染症に関するファイルをスタッフルーム内に置きいつでも確認できるようにしている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具に関しては除菌、また食品の管理についても栄養士の指示に従い、調理食材は検食提出している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	出入りが自由にできるよう門扉の開放、また玄関ドアは施錠しない、玄関ホール等には花などをいけ季節感を感じていただくしつらえをしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースや居室の掃除は毎日実施し、できる限り利用者にも手伝っていただく、また共用スペースに花を飾ったり季節に応じた壁飾りを工夫している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングやダイニング、他の空間にも椅子を置き居室も含めてお好きな場所でくつろいでいただけるようにしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご入居者のプライバシー保護を優先しボランティアの受入れ及び場所の開放に関して地域との関わり方を考えている。